

※ 入場無料、ご一緒に考えてみませんか？

# シンポジウム

●報告者＝▼高橋重臣さん(高知市・潮江高橋病院長)、▼岡村友子さん(高知生協病院看護師長)、▼春名なおあきさん(元衆院議員)、▼行政関係者、▼患者、ほか

どうなる？  
どうする？

## 高知の 医療と介護

高知県内にある8000床の療養型(長期入院型)のベッドを3000床へと削減する医療「改革」法が成立しました。入院したくても入れない、入っても追い出される——全国で一番ベッド数の多い高知県への影響は、はかりしれません。

高齢者への窓口負担も増えます。「保険証一枚」で“誰でもどんな病気でもかかれる医療制度”から、“お金がないとかかれない医療制度”へと突き進もうとしています。

高知県の医療と介護について、ご一緒に考えてみませんか？ お誘いあわせ、お気軽にご参加ください。

病院から出て行けと  
言われても…



とき = 10月28日(土) 午後2時～  
ところ = RKCホール(高知市本町電車通り・北)

主催 = 日本共産党高知地区委員会(高知市丸の内2-6-1 TEL 824-4123)

“金の切れ目が命の切れ目” “保険あって医療なし”  
そんな医療制度にならないよう、この高知から声をあげよう！！